

AGC鹿島工場にXC-Gate. PLCを導入 ～PLCデータの活用と現場帳票の電子化でDX推進に寄与～

株式会社テクノツリー（本社：兵庫県明石市、代表取締役：木下 武雄、以下 テクノツリー）は、AGC株式会社（以下 AGC）の鹿島工場でPLCデータの活用ソリューション「XC-Gate. PLC（エクシーゲート・ピーエルシー）」を導入したことをお知らせします。

<背景と課題>

樹脂の加工工程では、生産計画をもとに、上位サーバーからロット番号を取込み、各製造プロセスを経て製品が作られます。

導入前は、運転データ（流量、温度、圧力や設備情報）は紙であったため、採取やデータ整理に多くの時間を要しました。

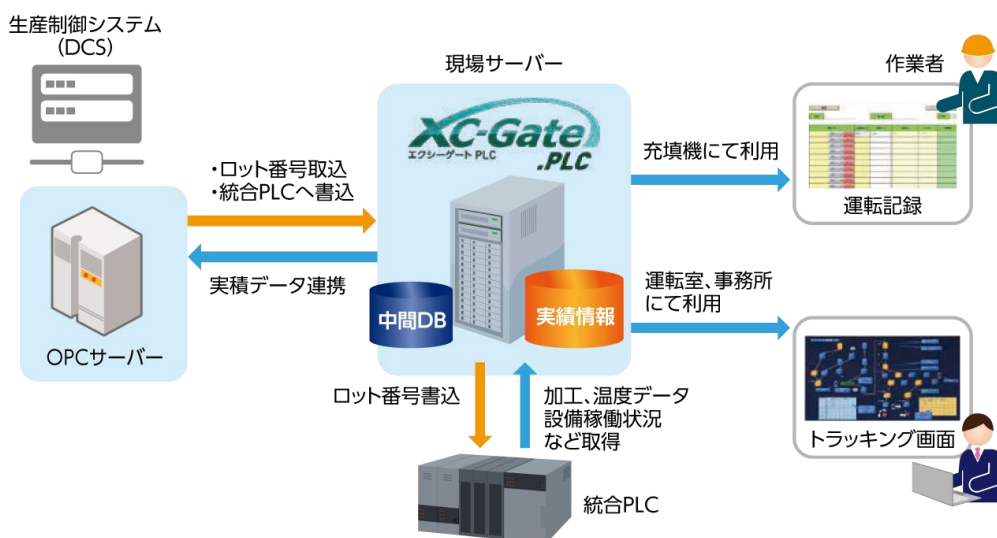
＝課題＝

- 現況を把握するのに現場に出向く必要がある。
- 工程ごとの記録が紙のままのため、トラブル発生時のデータ確認に時間がかかる。
- 分析データの傾向が把握しにくい。
- 生産管理、品質管理、設備管理、日報などデータを把握するのに管理業務を徹底し、効率化を図るような手段を用いなければならない。

<導入内容および課題解決>

課題解決においては、「XC-Gate. PLC」（現場サーバー）と OPC サーバーや統合 PLC との連携によって生産状況や工程ごとの運転データをロットで管理できるようにシステム構築しました。

<システム全体イメージ>



XC-Gate. PLC(エクシーゲート・ピーエルシー)について

PLC・シーケンサーが持つ各種機械の情報(稼働状況・試験装置データ・センサー情報など)と「XC-Gate」(紙をPCとタブレットや大型スクリーンで電子化するツール)の機能が連携した、機械と人の情報を組み合わせることができる、工場の見える化ツールです。

製品サイト http://tt-websolution.jp/xc-gate/outline/xc-gate_plc/